



率先しよう

WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

会長 / 吉川 正宏

幹事 / 前田 和久

副会長 / 寺尾 和則

副幹事 / 川島 啓晃

例会日：毎週月曜日 18:00～19:00

例会場：静岡グランドホテル中島屋

事務所：静岡市葵区伝馬町9-3 / TEL 054-254-5611

2006-2007年度RI会長 ウィリアム B.ボイド / テーマ「LEAD THE WAY」

平成19年2月6日(火)

会場：ホテルアソシア静岡ターミナル

No.826

第898回 例会

静岡市内7クラブ合同例会

卓話者：静岡県立大学教授 / 伊豆見 元 様

ホストクラブ：静岡北ロータリークラブ 大橋利昭会長

皆さん、こんにちは、私は静岡北ロータリークラブの今年度会長を勤めています大橋でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

今日は、静岡市内7クラブ合同例会に、このように大勢の皆様のご出席をいただき誠にありがとうございます。ホストクラブ会長として、心より厚くお礼申し上げます。

早いもので、もう2月になりましたが、2月は国際奉仕プロジェクトについて考える「世界理解月間」です。ロータリーは、現在168カ国の地域に広がっておりますが、国によって、伝統、生活習慣、文化、宗教、経済力等、大きな違いがあります。これらの違いを乗り越えて、国際奉仕を通じて、ロータリアンが世界的親交を結ぶことにより国際理解と親善を図ることがロータリーの活動です。

私共の北クラブでは、国際奉仕委員会による貧困にあえぐ発展途上国の子供達に対する救援活動事業「カンボジアの子供達に自転車を贈る事業計画」が理事会で承認されました。8月に現地に行き、自転車贈呈式典に参加して、現地の人達や自転車輸送に携わった人達と交流することになりました。この事業は、ロータリーの任務である「一般の人々のあいだに理解と善意を育むための活動」の一つとして是非、これからも継続させていきたいと思っています。しかし、国際理解と親善の先にあるロータリーの究極の目的は「世界平和」です。目的達成を考える時、その道のりは、遠く険しい、と言わざるを得ません。

ロータリーの創設者ポール・ハリスは「戦争に至る道は、よく舗装されたハイウェイです。平和への道は未だに茨の道です。」とっていました。その茨の道の一本が、北朝鮮からの平和への道かと思えます。

そこで、本日のご講演は、静岡県立大学国際関係学部教授、伊豆見元先生においでいただきました。伊豆見先生は、1950年東京都のお生まれ。中央大学法学部、上智大学大学院をご卒業後、韓国の延世大学に留学。平和・安全保障研究所主任研究員を経て、現在、朝鮮半島の政治・外交分析の第一人者でいらっしゃいます。国際社会を敵に回し、瀬戸際外交を続ける北朝鮮は、これからどこへ向かっていくのか。拉致事件の解決はどのように進めるのか。伊豆見先生のご意見を直接伺うことが出来る、貴重な機会をいただきました。先生、どうぞよろしくお願いいたします。

今日のこの合同例会が「世界情勢を理解」するための一助となり、実り多きものとなりますようお願いしまして、会長挨拶いたします。



クラブ参加者数・各クラブ会長紹介

静岡RC	(67名) /	会長	伊藤恒道 様
静岡東RC	(45名) /	会長	宮川 沱 様
静岡南RC	(33名) /	会長	杉本進彌 様
静岡日本平RC	(44名) /	会長	阿部裕之 様
静岡西RC	(42名) /	会長	吉永博雄 様
静岡中央RC	(41名) /	会長	吉川正宏 様
静岡北RC	(28名) /	会長	大橋利昭 様

静岡中央ロータリークラブ週報

クラブ会報委員会 / 塚本 誠太郎・上條 康則・是永 俊晴・山本 義久・加藤 文昭・朝来野 弦・川村 一紀

ホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/scrc2620/> メールアドレス scrc2620@leaf.ocn.ne.jp